授業科目　身体障害作業療法学Ⅱ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	作業
岩崎テル子、大山峰生	開講時期	前期	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【一般目標：ＧＩＯ】

作業療法の対象となる身体障害の治療理論及び治療・指導・援助の手技・手段を学ぶ。

【行動目標：ＳＢＯ】

1．身体障害作業療法の治療理論を説明できる。
2．心身機能および身体構造に関する基本的障害に対して治療理論を適用できる。
3．身体障害に関して国際障害分類（ＩＣＦ）が適用できる。
4．代表的疾患に対して作業療法を適用できる.

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	身体障害作業療法の治療理論（生体力学的、神経生理学的、リハ的）	1	講義、身体障害pre－test
2	心身機能・身体構造に関する基本的障害への治療原理・手技・手段.	2	講義
3	国際障害分類（ＩＣＦ）を用いた身体障害の構造分析.	3	講義
4	中枢神経障害の一般的治療原理と指導・援助体系.	4	講義、Quiz1
5	脳血管障害：陽性徴候の抑制・陰性徴候（平衡反応）の誘発の方法	4	講義、CVA　pre-test
6	脳血管障害：回復段階別治療・指導・援助内容	4	講義
7	脳血管障害：　　同上	4	講義、CVA　Quiz２
8	脊髄損傷：レベル共通の治療・指導・援助の実際	4	講義
9	脊髄損傷：レベル別治療・指導・援助の実際	4	講義
10	慢性中枢性神経疾患（パーキンソン病）の評価と治療・指導・援助	4	講義
11	慢性中枢性神経疾患（脊髄小脳変性症、ALＳ）の評価と治療・指導・援助	4	講義、Quiz３
12	末梢神経損傷の治療･指導･援助	4	講義
13	ハンドセラピーの対象と治療・指導・援助	4	講義
14	慢性関節リウマチ：　障害のStage、Classに応じた治療・指導・援助	4	講義、Quiz4

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書	作業治療学１身体障害	日本作業療法士協会	協同医書出版	1999、 3500円
参考書	①作業ーその治療的応用、	日本作業療法士協会、	協同医書出版社、	1985, 8500円
	②図解：作業療法技術ガイド、	石川斎、古川宏編、	文光堂、	最新版、7000円
その他の資料				

【評価方法】

出席点：10％
Quiz　：20％
期末試験：70％

【履修上の留意点】

実技に結びつけて一つ一つの治療手技を理解するよう常に努力する。